

国土交通省 令和3年度第2回  
サステナブル建築物等先導事業（省CO<sub>2</sub>先導型） 採択

# 守山市新庁舎『つなぐ、守の舎』 整備事業

守 山 市



守山市新庁舎『つなぐ、守の舎』整備事業



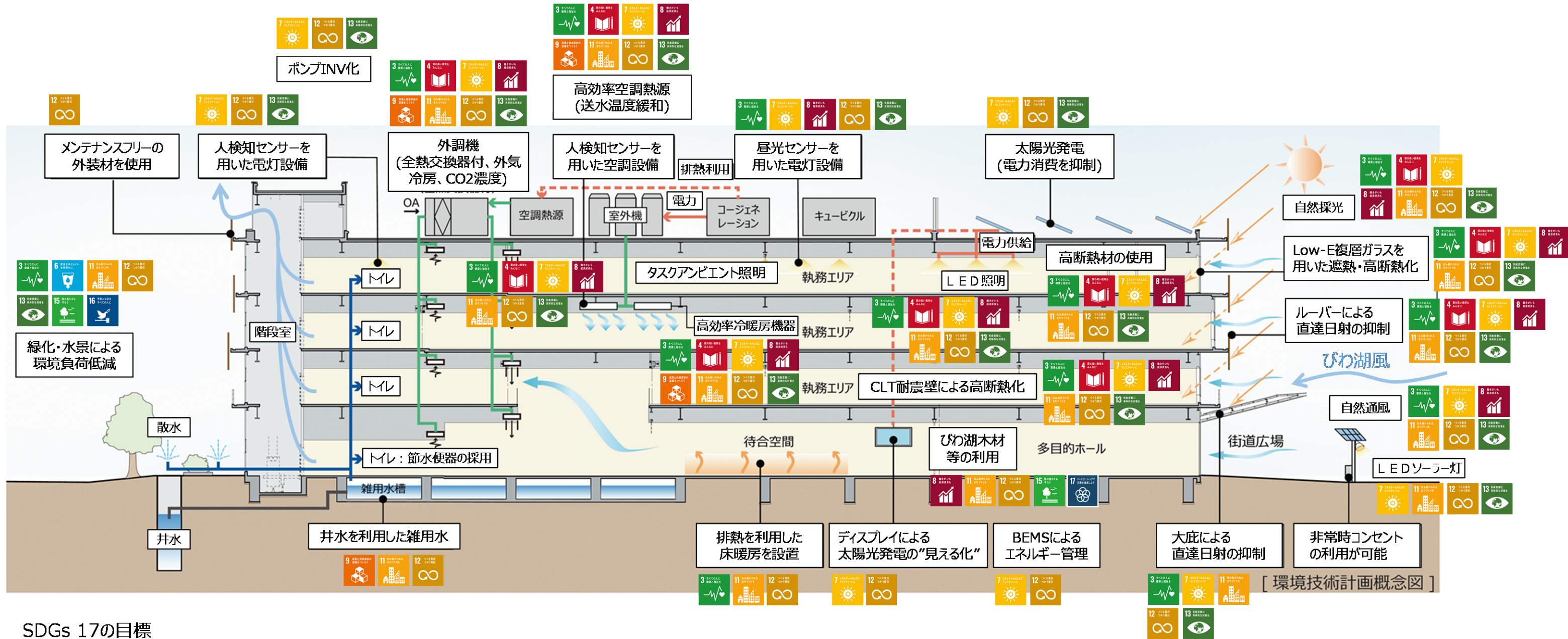
|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 敷地面積    | 約17,400m <sup>2</sup> |
| 延床面積    | 14,344m <sup>2</sup>  |
| 階 数     | 地上4階                  |
| 構 造     | 鉄骨造（耐震壁にCLTを採用）       |
| 工 期     | 2022年1月～2024年7月       |
| 基本設計    | 隈・安井設計共同企業体           |
|         | (株)隈研吾建築都市設計事務所       |
|         | (株)安井建築設計事務所          |
| 実施設計・施工 | (株)竹中工務店              |



西松市役所



# 省エネルギー・BCPとウェルネスの連立

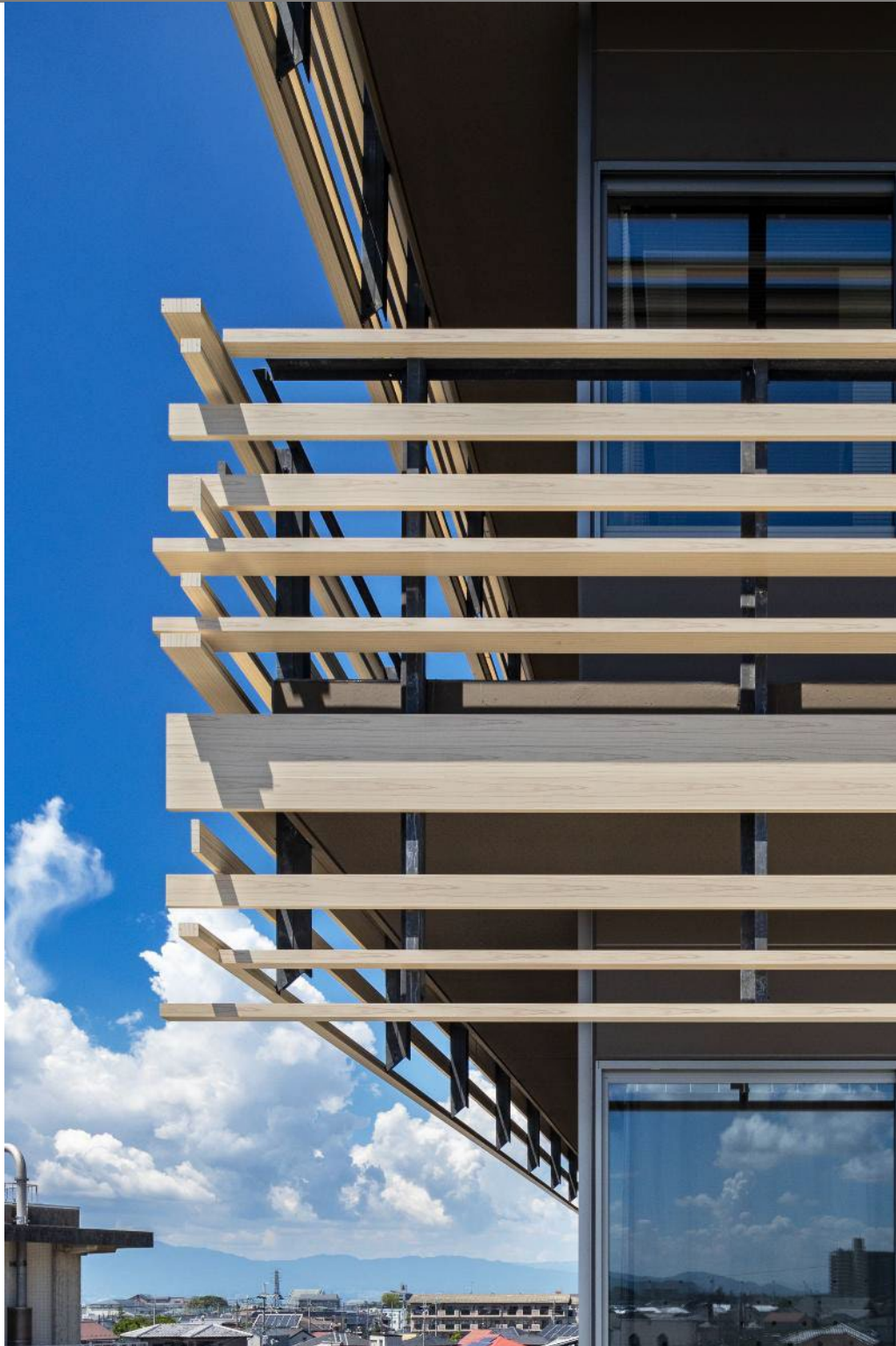


## SDGs 17の目標



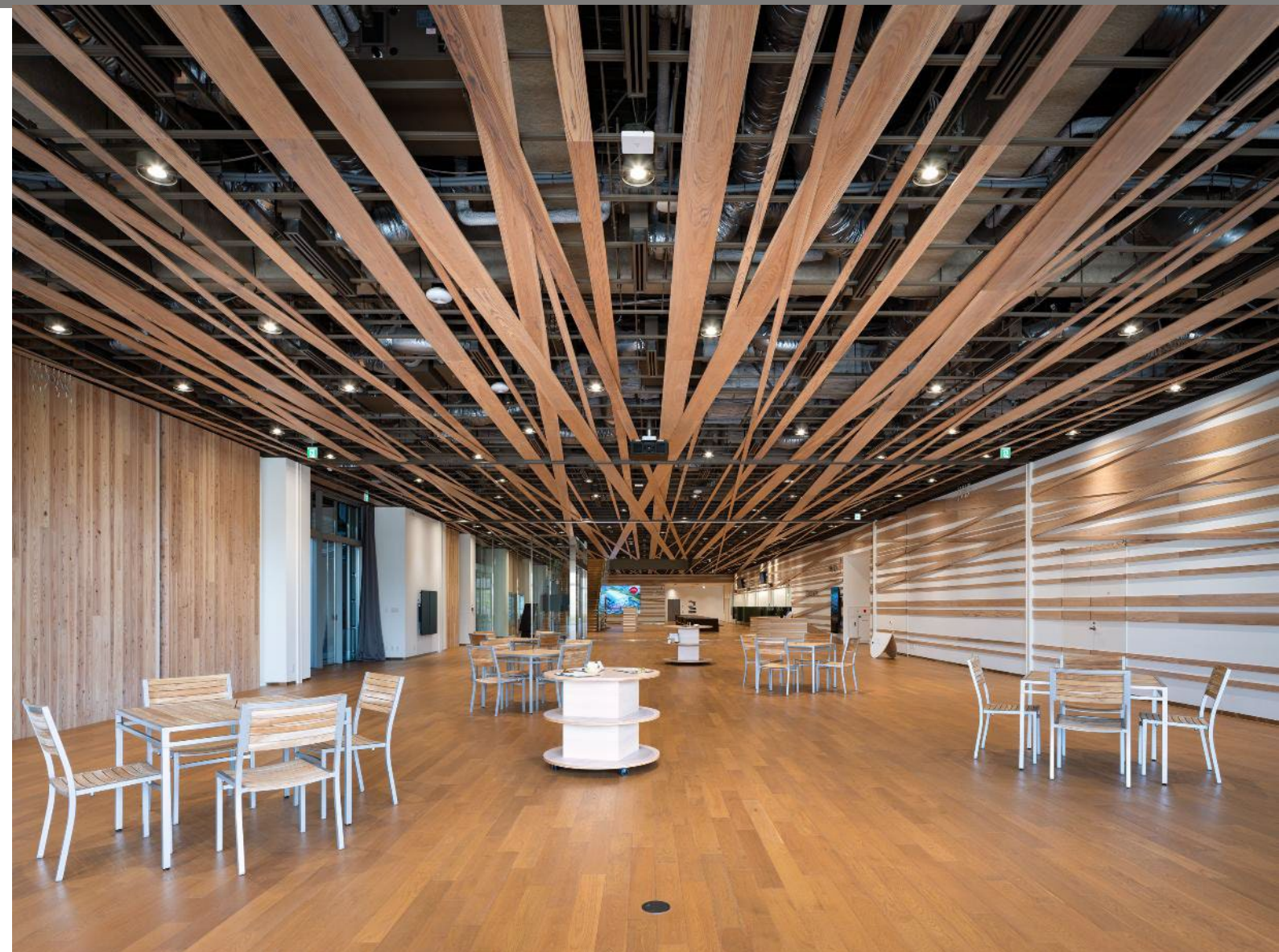
BEI=0.47 ZEB Ready認証（設計時）を達成  
滋賀県内初のCASBEEウェルネスオフィスSランク認証を取得

# 省エネ・再生可能エネルギー等の利用・工夫



- 快適性と省エネ性を両立させた外装ファサード
- ルーバー・庇による直達日射の抑制
- 太陽光発電の積極利用

# 省エネ・再生可能エネルギー等の利用・工夫

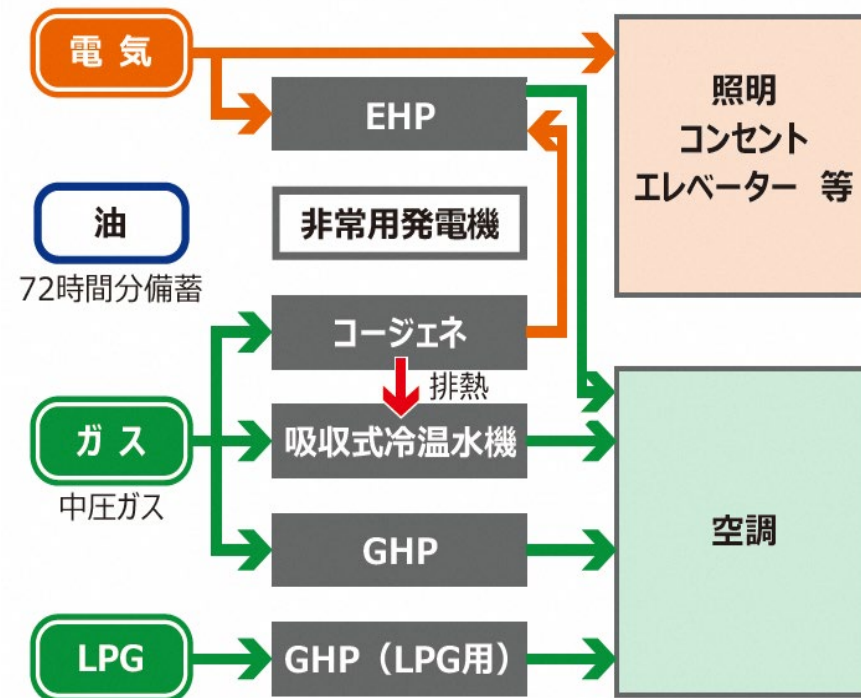


○滋賀県産の木材を積極的に利用

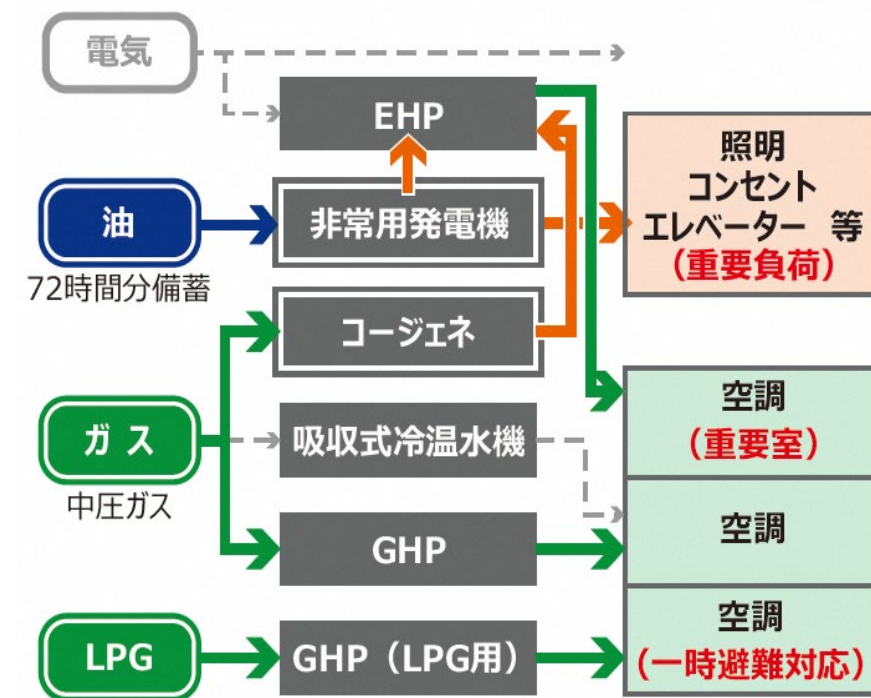
○CLT耐震壁による高断熱化

# 非常時のエネルギー自立と省CO2の実現

平常時



非常時



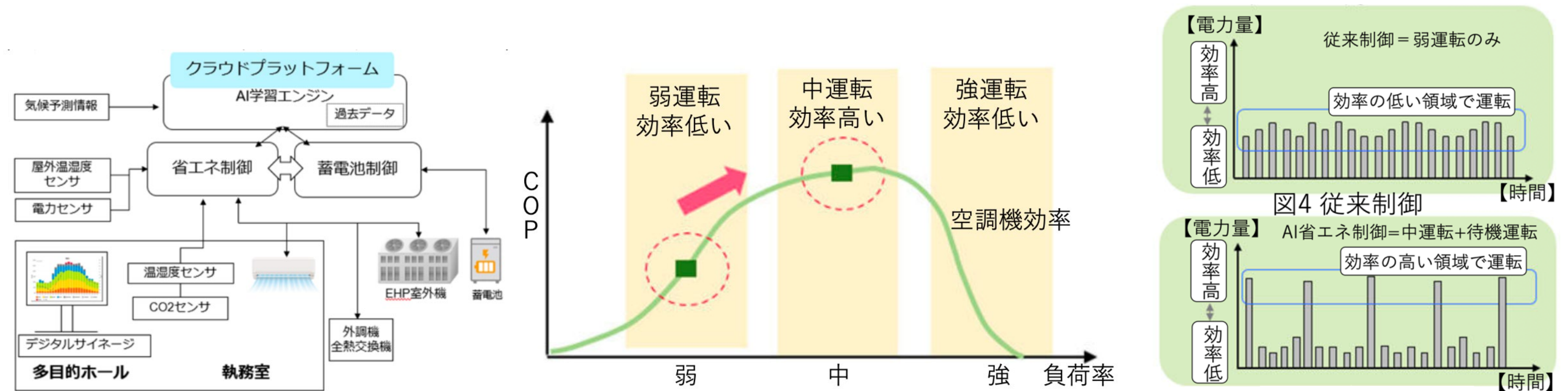
非常時に市民の受け入れを想定している1階ロビー等の空調熱源は、地元業者供給のLPGとすることで早期復旧と安定的稼動が可能

信頼性の高い中圧ガスから燃料を供給するMCGS（70kw）や太陽光発電（40kw）を設置し、自家消費することで省CO2に貢献

災害拠点機能維持のため72時間分の非常用発電機燃料（A重油）を確保し、電気の途絶に備える

近隣河川堤防の決壊に備え、キュービクル・発電設備の屋上設置やサーバーの3階設置などの対策により機能維持が可能

# AI制御を用いた省エネシステム

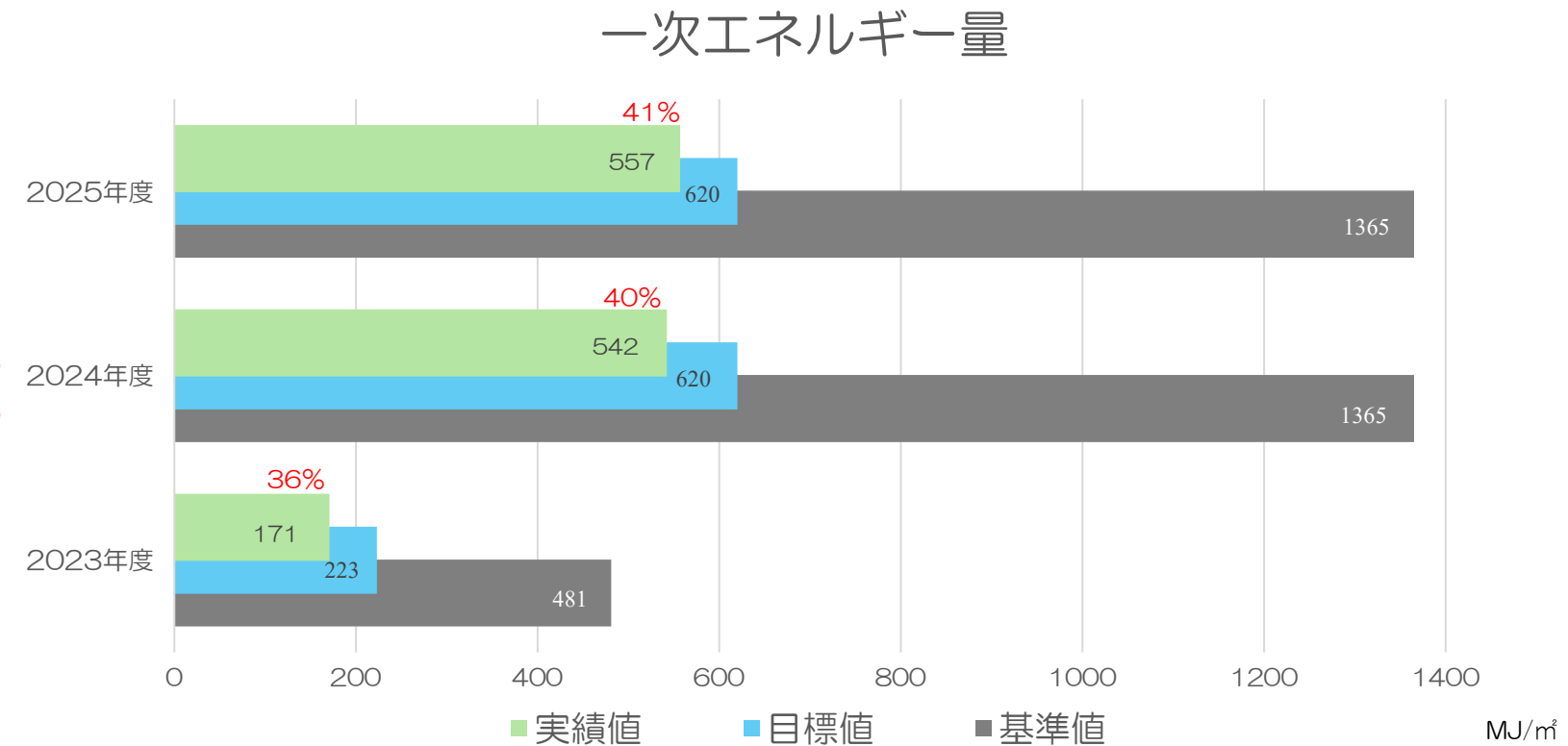


○クラウド型BEMSを用い、庁舎内各所に設置した無線式の温湿度センサーやCO2センサーの情報により、室外機稼働効率を最適化し、空間の温度ムラを減らすことで、快適性も向上させている

# エネルギーマネジメント



山口市役所



○庁舎整備時の関係者を集めて毎月エネルギーマネジメント会議を開催

エネルギーの使用状況をモニタリングし、随時設備のチューニングを行っている

2024年度の実績を踏まえ、2025年度は快適性を重視した運用としたが、エネルギーマネジメントにより一次エネルギー消費量は前年度水準を維持している

また、設計段階からZEB Ready認証を受けており、実績値でも50%削減を達成

# 執務・会議・職員スペース



# 街道広場（夜景）



## 街道広場（大庇）

